

高等小學書方手本 第二學年用下乙種

第二學年用下乙種

高等小學書方手本



文部省

かけまゝも畏れども天皇
皇后南陛下の春秋に當ませ
給ひて竹の園生のまことまに

茂りしつゝおとまねば天地
と記りたるおの國の業もおも
はれて貴しとよおからずや。

特別保護建造物。

鳳凰堂莊嚴華麗。

資金融通抵當位

利高步購買販賣

畫翰。返。信。執。筆。管。

潔。際。要。慰。心。攄。抄。

拜啓至急御相談お願度儀
これあり明後日午後二時

貴同被度お出都合如何に也
折返し此一報致上云々

御手紙の趣領は
終日在毛書付
上り書

十一

河東遠東下
り札度

敬具

十二

永今为国死。死不肯买亲。
恨くく地事。哉。貴在の神。

親おもふことまゝの親ら
今日のおいづれ何と平らん。

關稅稅率從量從

價協定雙務片務。

燕。趙。韓。魏。齊。楚。秦。

漢。晉。唐。宋。元。明。清。

拜啓先達は来堂迄く馬馳走に相成り
有り難く御禮申上る其の際由約束致し寄
附金別紙為替を以て由送り申上る由申
ながら然るべく馬取計下されたるの敬具

御手紙お見仕る過日馬光来の節は何の
風情もこれなく失礼致し由封入の爲替早速
先方へ相渡し別紙領收證書送り申上る由
由馬取計下されたる先は要用のみ申す

東岸西岸之柳葉連不同。

東枝西枝之梅葉落已盡。

權利。義務。遵奉。違。

犯。制裁。訴訟。辯護。

救世濟民奮鬥努力

力宥怒愛撫慰藉

庭の若草茂り合ひ青柳絲を亂りつ池
の浮草は波に漂ひて錦を曝すかこあや
またる。中島の松にかれる藤波の紫に咲

ける色青葉まじりの遅櫻初花よりも珍
しく岸の山吹咲乱れ八重立つ雲の絶間より
山時鳥の一聲も君の御幸を待顔なり。

履歷書

何縣何郡何村何番地
何縣平民伊平長男

矢野市太郎

明治二十七年三月三日生

一明治三十三年四月何縣何郡何村尋常高等小學

校ニ入學シ四十一年三月卒業

一明治四十一年四月ヨリ近藤商店ニ雇ハレ引續キ
勤務

一賞罰ナシ

右ノ通ニ候也

大正元年十月一日

右

矢野市太郎

沈着。敏捷。率直。敦厚。

輕躁。遲鈍。執拗。浮薄。

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ルコト宏遠ニ
德ヲ樹ルコト深厚ナリ我カ臣民克ク忠ニ克ク
孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セル此レ我カ

國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス
爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友
相信シ恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及ホシ學ヲ修メ

業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ德器ヲ成就シ進テ
公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常ニ國憲ヲ重シ國法ヲ遵ヒ
一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ

皇運ヲ扶翼スヘシ是ノ如キハ獨リ朕カ忠良ノ
臣民タルノミナラス又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顯
彰スルニ足ラン

斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫
臣民ノ俱ニ遵守スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ
謬ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト俱ニ

拳々服膺シテ咸其徳ヲニセンコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

御名 御璽



大正四年四月十七日
 正刻發行
 正刻發行
 正刻發行

著作權所有

大正四年四月十二日
 文部省檢査濟

發行所

東京市小石川區
 指ヶ谷町百三十六番地

高等小學書キ方手本
 第二學年用下乙種

定價金四錢

著者兼
 發行者

文部省
 板倉折枝

翻刻發行
 兼印刷者代表者

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地
 東京書籍株式會社
 石川正作

印刷所

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地
 東京書籍株式會社工場

東京書籍株式會社